

交通安全対策優先箇所への新たな指標による検証_新たな指標（レッドゾーン戦略）について

○新たな指標（レッドゾーン戦略）について

- ✓ レッドゾーン戦略は、交通安全の新たな取り組みとして、関東地方整備局内で同一の指標によって事故の危険性の高い箇所を抽出。
- ✓ 山梨県内には、幹線道路の8%に当たる約300箇所がレッドゾーンに該当し、そのうち2/3にあたる約200箇所が未対策箇所。

■関東地方整備局管内における交通安全の動向

日本の死傷事故率は、欧米諸国と比べ非常に高く、昭和45年(1970年)をピークに減少していたが、近年は増加傾向。

関東地方整備局管内では、レッドゾーンに該当する区間を選定し、優先的に事故対策を実施。

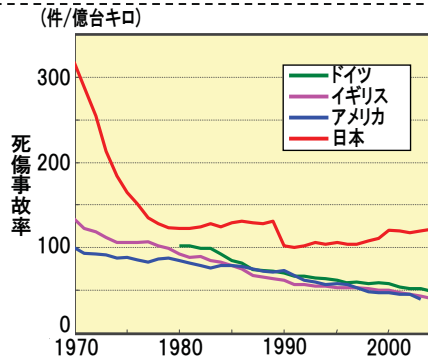
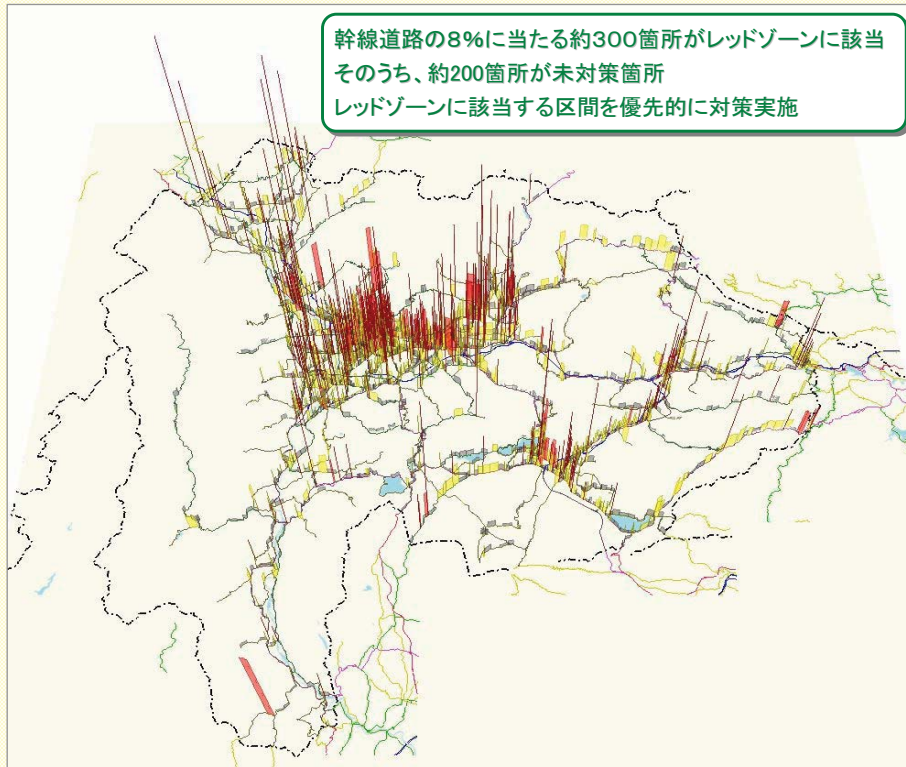


図 日本と欧米諸国の死傷事故率の推移

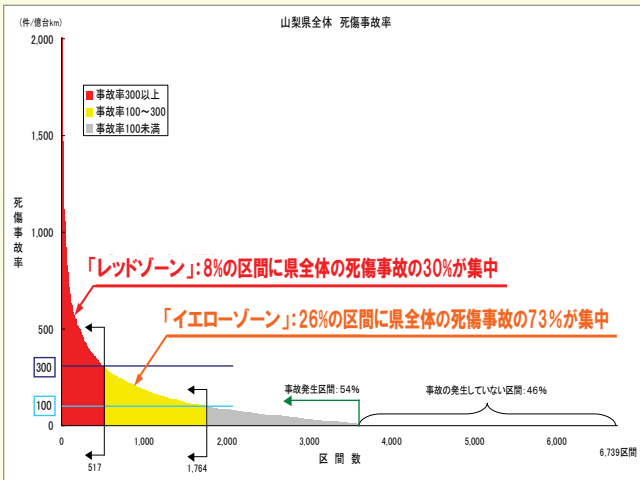
◆山梨県のレッドゾーン、イエローゾーン箇所



◆交通安全対策優先対策箇所への検証

地域名	箇所番号	箇所名	死傷事故率 (件/億台km) [H14-H17] 新ITARDA区間	
甲府	1	笛吹市 石和橋西交差点	241.1	
	2	甲府市 向町2交差点	431.4	
	3	甲府市中小河原1	147.6	
	4	甲府市 国母立体交差点	222.6	
	5	甲府市 国母交差点	809.9	
	6	甲府市国母5	188.5	
	7	甲府市 徳行立体交差点	152.8	
	8	甲府市徳行4	213.9	
	9	甲斐市 竜王立体交差点	336.2	
	10	甲府市 甲府署前交差点	778.7	
	11	甲府市桜井町	507.8	
	12	笛吹市石和町河内	256.3	
	13	甲府市古閑町	58.5	
	14	甲府市相生1・2	289.6	
	15	山梨市一町田中	306.5	
	16	甲府市酒折1	421.7	
	17	甲府市善光寺1	421.7	
	18	甲府市 伊勢1-8交差点	675.9	
	19	昭和町 国母駅入口交差点	505.3	
	20	昭和町西条	365.0	
	21	昭和町飯喰	529.3	
	22	中央市 小井川駅入口交差点	421.1	
	23	甲斐市万才	357.4	
	24	南アルプス市 上今諏訪457交差点	383.5	
	25	南アルプス市 開国橋西交差点	383.5	
	26	甲府市丸の内1・2	383.0	
	27	甲府市丸の内1・2	110.4	
	28	甲府市 武田交差点	861.1	
	29	甲府市 富士見通り北交差点	514.2	
	30	甲府市 北部市民センター前交差点	514.2	
	31	甲府市北口2	295.2	
	32	南アルプス市 飯野一區交差点	650.3	
	33	山梨市 中牧神社北交差点	869.8	
	34	笛吹市石和町小石和	46.9	
	35	増穂町青柳町	106.0	
	36	甲斐市竜地	174.2	
峡北	37	韮崎市 船山橋北詰交差点	561.5	
	38	北社市 牧原交差点	203.5	
	39	富士河口湖町河口	149.3	
富士北麓	40	山中湖村山中	141.3	
	41	山中湖村山中	140.8	
	42	鳴沢村7619	154.0	
	43	富士河口湖町 船津登山道入口交差点	471.2	
	44	山中湖村平野506	33.8	
	45	富士河口湖町船津	1,030.6	
	東部	46	大月市 大月市立病院交差点	754.1
		47	大月市 大月インター入口交差点	376.7

◆山梨県のレッドゾーン、イエローゾーン戦略



レッドゾーン

レッドゾーン: 昭和45年の「交通戦争」と呼ばれた頃と同程度以上(死傷事故率300件/年以上)の事故が発生している箇所

イエローゾーン

イエローゾーン: 欧米諸国の2倍以上(死傷事故率100件/年以上)の事故が発生している箇所

死傷事故率

1万台の車が1万キロ走行した場合に発生する死傷事故件数